

- A. 日 時 2009 年 7 月 30 日 (木) 17 時 00 分～19 時 00 分
- B. 場 所 建築学会会議室
- C. 出席者 安藤 啓、井上勝夫、大鶴 徹、岡田恭明、佐久間哲哉、田端 淳、土田義郎、中澤真司、羽入敏樹、平松友孝、平光厚雄、堀之内吉成、峯村敦雄、宮島徹、吉村純一、渡辺充敏(敬称略)
欠席者 佐藤史明、濱田幸雄(敬称略)
- D. 提出資料
- No.2-0 2009 年度 第 1 回音環境運営委員会議事録(案)(堀之内)
No.2-1 2009 年度 音環境運営委員会・委員名簿(田端)
No.2-2 環境関連各委員会の委員公募資料(田端)
No.2-3 低周波音問題刊行小委員会「建築に関わる低周波音問題への対応(仮称)」目次案(田端)
No.2-4 日本音響学会建築音響研究委員会・今後の予定(佐藤)
- E. 審議事項
1. 前回議事録確認(資料No.2-0)
 - ・「4. 環境工学本委員会報告」の中で「ミスが多発との報告」を「ミスがあったとの報告」に修正、「大島先生(新潟大)」を「大嶋先生(新潟大)」に修正。
 - ・「7. 小委員会・WG活動報告」の中で室内音響小委員会「スピーチプライバシー・・・」の一行削除、固体音小委員会「委員募集に2名の」を「委員募集に3名」に修正、集合住宅の性能水準検討小委員会「学会基準」を「学会規準」に修正。
 - ・上記以外は承認された。
 2. 組織と名簿の確認
 - ・名簿の所属の修正、傘下委員会・WG、関連委員会の名称追加を確認した。室内音響小委員会傘下のWGは委員が未定のため空欄。
 - ・公募委員の決定について報告があった(田端主査)
 3. 環境工学本委員会(2009.7.30)報告(田端主査)
 - ・全ての常置委員会の2008年度活動成果報告がHPにアップされた。
 - ・直販出版物でアカスタ図書の残部数が多く、どの程度部数を見込むかも考慮して欲しいとの事。
 - ・2008年度講習会の決算報告があり、赤字となっていないので問題なし。
 - ・来年度2010年度委員会活動計画案・予算原案および関係書類:10月30日が提出締切。
 - ・代議員による委員会活動評価:各委員会の自己評価に対して全体的に良い評価は得られているが、中には厳しい評価もある。環境工学本委員会、運営委員会に対する自己評価も今後行う予定。
 - ・大会の発表件数推移:環境工学分野に年度ごとの大きな変化はない。
 - ・2010年度大会準備日程(案):2009年11月20日がOS、PSの提案締切。PSはやらない。
 - ・来年度もOSを企画したい。11月18日の環境工学本委員会に間に合わせるため、9月に決める予定で考えていきたい。
 - ・今年の細分類、細々分類に問題が無ければ変更無しとしたい(異議は無かった)。
 - ・来年の研究協議会、研究懇談会:何か企画あれば提案頂きたい。
 - ・検討頂いて次回(9月)にまた議題にあげる。
 - ・2010年度特別研究委員会設置応募:応募締切10月30日。既に設置を検討している方は9月25日の本委員会の前に調整が必要なので連絡頂きたい。最大年間100万円、2年間の予算がつく。
 - ・2010年度[若手奨励]特別研究委員会募集:応募締切10月30日。応募資格として年齢40歳以下。最大年間100万円、2年間の予算がつく。
 - ・2010年度「技術部門設計競技」課題検討:来年に向け提案があれば連絡頂きたい。
 - ・カーボンニュートラル提言:いくつか意見、提案が寄せられ細かい修正が加えられたが、骨子は変えられない。
 - ・大会懇親会の案内:8月27日の夜に予定しており、多数のご出席を頂きたい。
 - ・環境工学用教材:環境編、設備編とも約97%入稿。年度内の刊行を予定。
 - ・制定から5年を経過したアカスタ:5年毎に改訂、確認、廃止の検討する事になっている。改訂の

フローはまだ出来ていない。

- ・ 「建築物の振動に関する居住性能評価指針・同解説」は、石川委員より改訂しないとの回答があった。
- ・ 改訂のフローは最小限のルートで、単純な改訂であれば半年、一年で終わるのが良い
- 2010年教育賞：教育業績の候補者を推薦して頂きたい。11月30日締切。
 - ・ 安岡先生を推薦する。田端主査が推薦理由書を作成。なお、安岡先生には推薦する事を事前に了解頂くのが良いだろう。
 - ・ 教育賞の教育貢献は公募である。教育用DVD(サウンドライブラリ)の作製に関わった方達を連名として応募したらどうか。本委員会としての推薦ではないが、各位と相談しながら考えたい。
- 技術部門設計競技受賞者：大会の中で表彰式がある。
- 催し物：実施計画書および決算の報告があった。
- 環境工学者名簿：11月初旬に改訂された名簿を刊行予定。名簿を借用してのアナウンスは年に10回程度。改訂に合わせて物理的な名簿の貸し出しは止め、情報のみを渡す方法を検討中(名簿の紛失等の誤っての流出を防ぐため)。

4. 低周波音問題刊行小委員会への参加についての審議(資料2-3)

- ・ 主査の石川先生よりの本委員会からの参加要請に対して討議し、最終的に安藤委員が参加する事になった。

5. 小委員会・WG活動報告

固体音小委員会(中澤主査)

- 6月12日に第一回、7月17日に第二回委員会開催。
- OSの原稿の検討、開催したシンポに対する意見、反省を踏まえて二年間の活動計画について討議。
- 音源、対象床を含めた評価実験の方法について討議。
- 次回くらいで二年間の計画をまとめ、実験を進めて行きたい。

集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会(濱田主査、田端委員)

- 7月13日開催。
- 暗騒音の大きさがどの程度にあるかの調査用紙作成と修正。委員内部で試用して良ければ関連する委員に調査をお願いする。

建築音響測定法小委員会(宮島主査)

- 6月3日に第一回委員会開催。
- インピーダンス測定法はまとめ方について、短時間測定法は継続した取り組みについて検討中。
- 今年度からフランキングについて取り組む。古賀委員を中心とした勉強会を開く。
- 次回は8月7日に開催予定。

室内音響小委員会(羽入主査)

- 5月22日に第一回委員会開催。委員を大きく入れ替え、オブザーバー含めて9名でスタート。
- 1)パフォーマンス空間以外の室内音響学を適用出来る空間を模索する、2)様々な空間への適用には従来の拡散音場だけでは不足であるので非拡散音場等の新たな研究を促していく、を二つの柱として活動する。
- 6月19日にスピーチプライバシーWGの活動成果をまとめシンポジウム開催。
- 次回は8月6日に開催予定。

音響数値解析小委員会(佐久間主査)

- 6月2日に第一回委員会開催。豊田委員と星委員の2名が新任。
- 音環境の数値シミュレーション刊行小委員会と委員は重なっており、読み合わせ等を行っている。出版の前にシンポジウム開催予定(年度末くらい)。
- 出版以外でも、ベンチマークプロジェクトは継続していく。
- 年4回の開催を予定。

企画・広報WG(峯村委員)

- 7月13日に第二回委員会を開催。
- 見学会は継続的に実施する。
- 1)一般の意識向上を意図して住まい方のマニュアルのような物を提案、2)産学連携のあり方に関連して、どのような研究分野がどのような形で世の中に出ているかについて網を掛ける、の二つを柱として活動する。

音環境アカデミックスタンダードWG（平松主査）

- 6月5日に第一回、7月24日に第二回WG開催。
- 赤本を例に取れば、遮音性能規準と建物別の遮音設計指針をそれぞれ分冊化してアカスタ化の方針。
- まず遮音性能規準と集合住宅の遮音設計指針を先行してアカスタ化。
- 本WGは、いつの時点で何をアカスタ化するかの大きな流れを判断する、また改訂の流れを汲む所と考えているので、具体的な作業はSWGで行う。

6. 他学会の予定

日本音響学会・建築音響研究会 8/5 鹿島技術研究所
10/9 日東紡音響エンジニアリング
11/21 東京芸術大学
12/2 京都大学

日本音響学会・騒音振動研究会 8/7 浜松市楽器博物館

7. その他

- 教材委員会の音関連のワークブックの経過についての質問
 - ・ 去年、本委員会は意見を学会事務局に返している。教材の事務をたどってみるのが良いだろう。
- JAABE にサイテーションインデックスがつき、これにより投稿数が増えたとの情報。

9. 次回の予定

- 次回は2009年9月25日(金)17:00～ 建築会館・会議室

2009年度 音環境運営委員会予定		
第1回	2009.5.21(木)	実施
第2回	2009.7.30(木)	実施
第3回	2009.9.25(金)	(決定)
第4回	2009.11.18(水)	
第5回	2010.1.22(金)	
第6回	2010.3.16(火)	